



平成23年5月2日

配布先

長岡市記者会
長岡地域記者会

国土交通省 長岡国道事務所の
記者発表資料です

本誌の投込みを持って解禁

国道17号三国峠、雪崩に対する安全を確認 長岡国道事務所道路雪害体制を解除しました

国土交通省長岡国道事務所では、警察・県・市町村・東日本高速道路(株)と連携し、冬期の円滑な道路交通を確保するために、全力で対応してきました。

4月25日に国道17号三国峠(群馬県境部)から湯沢町堀切地先までの斜面をヘリコプターにより、雪崩の専門家と合同で点検を実施。若干の斜面雪の処理が必要な一部の箇所を除き、雪解けによる雪崩発生の恐れがないことが確認されました。

4月28日の午後に必要な処理が完了したことから、4月28日、16時を以て、長岡国道事務所は道路雪害対策支部の体制を解除しました。

昨年は4月30日に解除しており2日早い解除となります。
(体制の発令は平成22年11月1日)

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 管理第一課長 土田 利明
〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1
TEL 0258-36-4551(代)内線431/FAX 0258-36-4660

パソコンはこちらからアクセスして下さい <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku>
携帯電話はこちらからアクセスして下さい <http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/i>



国道17号から見た斜面の状況

(平成23年4月25日撮影)



①湯沢町火打地先(火打スノーシェッド付近)



②湯沢町三俣地先(三俣スノーシェッド付近)



③湯沢町三俣地先(八木沢トンネル付近)



④湯沢町芝原地先(芝原スノーシェッド付近)

点検(写真撮影)箇所





今冬の長岡国道事務所管内

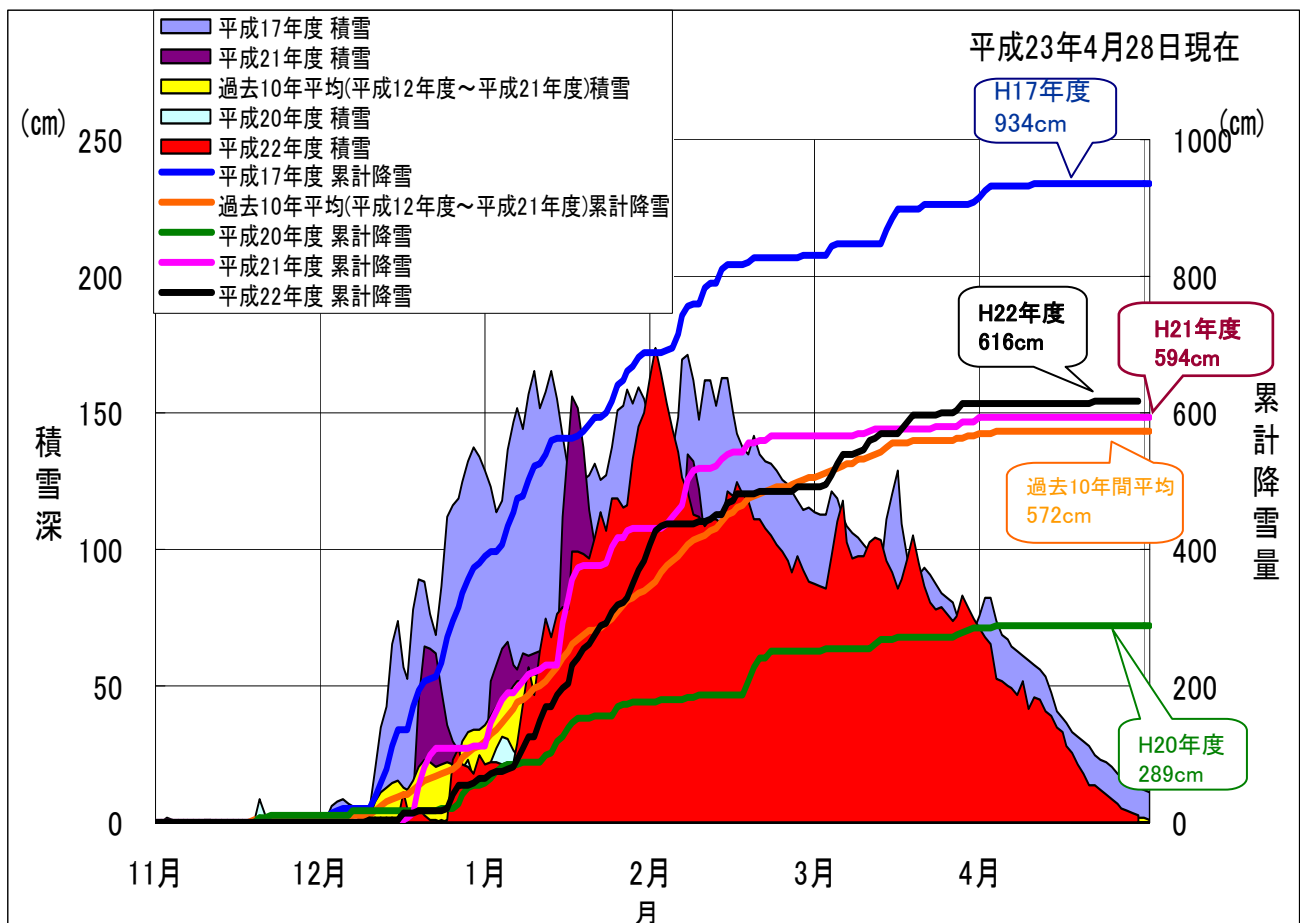
《今冬の特徴と対応》

- 除雪車の初出動は12月7日(昨年より35日遅い)
- 今冬の降雪量は、昨年と同程度、過去10年平均と比べても、ほぼ 平年並み。
(長岡国道管内の平均値で比較)

- 昨冬と今冬の累計降雪量の比較—昨冬:594cm、今冬:616cm[1.04倍]
- 過去10ヶ年平均と今冬の累計降雪量の比較—過去10ヶ年平均:572cm、今冬:616cm[1.08倍]
※上記の数値は、長岡国道事務所管内の12箇所の雪量観測所の平均値です。

○今冬は、降雪量としては平年並みでしたが、年末から2月上旬にかけての連続降雪が特徴的で、この間に管内12箇所の雪量観測所のうち8箇所が警戒積雪深を超えたため、警戒体制を発令し体制を強化して、その対応にあたりました。

長岡国道事務所の積雪深・累計降雪量(管内平均値)



- ※1. 上記の数値は、長岡国道事務所管内の12箇所の雪量観測所の平均値です。
- ※2. 「累計降雪」は、降雪のあった最初の日から日々の降雪量を単純に足し続けた数値です。
- ※3. 「積雪」は、雪が積もっている高さの日々のそれぞれの数値です。よって、降雪の他、雪が溶けたり、雪の圧密(上部の雪の重さで雪が締められ沈下すること)により、増減するものです。